

学校紹介

Japanese Weekend School of New Jersey

Chanoyu-club

ニュージャージー補習授業校は、ニューヨーク郊外に位置し、日本人及び日系人の子どもたちのために、日本の学習指導要領に準拠した授業を実施しています。生徒数は現在約460名で幼児部から高校までの生徒がいます。日本と同じ体験をしてもらうために、入学式、卒業式はもちろん運動会、文化祭、七夕などの行事を実施しています。茶の湯クラブは、2015年から北澤恵子先生が開設されました。25名の生徒が月1回の指導を受けています。正式な茶室はありませんが、先生が毎回教室に畳や茶道具を持ち込んで簡易茶室を設けてくれます。

授業が終わった後、茶の湯クラブの教室へ入ると、お香の良いにおいがして、先生が毎回美しい着物を着て下さるので別世界に来たような錯覚になります。

稽古では、茶の飲み方、挨拶の仕方、帛紗さばきや立ち居振る舞いの作法を教わります。慣れていない正座は大変ですが、段々と慣れてきて、日本的な美しいマナーも身につけてきた気がします。又お茶のため方や飲み方だけでなく、稽古を通して「お先に。」など、「和」の精神を学ぶことができました。また、それらとアメリカの文化との違いを知り、とても面白いと思いました。私達にとって茶の湯クラブは、茶道を通して、アメリカでは経験出来ない自分のアイデンティティである日本の歴史や伝統を学べる貴重な場所です。

日本ではよく知られている慣習でも、アメリカではあまり知られていない茶道の美しい立ち居振る舞いなど、まだ茶道を知らないアメリカ人の友達に茶道のすばらしさを紹介できたらいいなと思っています。

そしてもっとお稽古を続けて、日本特有の文化である茶道を理解し、海外の友達や知人に広めて人種を超えて一緒に楽しめるようになりたいと思います。

The Japanese Weekend School of New Jersey is located in Northeast New Jersey, close to New York City. Classes are based upon Japanese curriculum guidelines, for children of persons of Japanese descent. Students attend from kindergarten to high school. There are about 460 students at present. An athletic meet, a cultural festival and an event of a Star Festival, as well as an entrance ceremony and a graduation ceremony, are all part of the experience, the same as would be for students in Japan.

Ms. Keiko Kitazawa established "Chanoyu-Club" in 2015. Twenty five students learn the tea experience once a month.

The club meets in a regular classroom. Kitazawa Sensei brings in Tatami mats and tea utensils to set the room up as a tea room. When students come to the Chanoyu club after school, they smell the incense and the teacher puts on a beautiful kimono each time, giving the illusion that they have come to a different world.

In the club, we practice the proper way to make and drink tea, eat sweets, and fold and use the fukusa. Even though students may not be used to sitting in Japanese style, Seiza, eventually we get used to it as well as learning the traditional manners. At the club, we learn not only about how to prepare, serve and drink the tea, but also about Japanese etiquette, manners and gestures through the lessons. We say "osakini/Osakini" to be polite to the next person prior to drinking tea before them. I have to say that the best part is the sweets. The sweets are hand made by the teacher, and are delicately designed to represent the different seasons. And the utensils are so intricate; they hold hundreds of years of Japanese tradition. The chance to learn this tradition and to see things that we may have never seen before makes this club extremely intriguing, and it is a wonderful way to embrace our identification as a Japanese.

None of my friends know how to act at a traditional Japanese tea ceremony, or have much chance to attend one, so we think that it would be a great idea for us to teach it to them to expand the Japanese culture. It also makes us want to spread and enjoy together and teach local Americans.



表千家学校茶道

題字：而妙斎宗匠

18号

ISHIZUE

礎

家族や友人と楽しむお茶



表千家同門会副理事長
三木町宣行

皆さんには、新年度を迎え、気持ちも新たにしてお茶の稽古に取り組んでいることと思います。また、新入生も加わり、ますます活気にあふれているのではないのでしょうか。

茶の湯は、ながい歴史のなかで継承されてきました。「日常茶飯事」と申すように、茶は昔から常に暮らしのなかで息づいてきました。「お茶をのむ」という行為に宿るところが点前や作法として洗練されてきたもの、それが「茶道」です。皆さんのご先祖が大切に伝えてきた茶道は、日本が誇るべき伝統文化です。

茶の湯は、亭主（客を招く人）がこころをこめて客をもてなす文化です。「一期一会」という言葉は、たとえ亭主が同じ客を何度茶会に招くことがあっても、その一会は二度とないことに思いをいたし、こころを尽くして客をもてなすことを意味します。

亭主は客に対して細やかにこころを配り、客もそうした亭主のもてなしに深く感じ入り、それにこたえるようにふるまいます。そして、亭主と客はこころの結び付きを強くします。茶の湯は人を思いやり、「人」と「人」、人の「こころ」と「こころ」をつなぐ架け橋となる文化なのです。

しかし、それは茶の湯の時だけに限ったことではありません。ふだんの生活のなかで、常に人を思いやり、気遣うこころは、とても大切です。そうしたこころを、茶道を通じて再発見し、育むことができると思います。そうした意味でも、近年、幼稚園や小学校でも茶道をとり入れるところがふえています。小さい子どもたちが、楽しそうにお茶を点てたり、お茶をいただいたりする光景を思うと、とても微笑ましい気持ちになります。これからもずっとお茶に親しんでほしいと願う次第です。

皆さんが茶道の稽古をしている時は、点前のことに気持ちが集中して、いろいろなことを感じる余裕がありません。時には稽古を離れたところで、家族や友人や先生にお茶を点てて差しあげてはどうでしょうか。そして、自分もお茶をいただく。そこには自然といろいろな会話が生まれ、家族団らんのひとつになると思います。そうすることで、何か新しい発見があるかもしれません。

学校での稽古だけでなく、家庭においても家族や友人と共にお茶を点て、またお茶をいただくことで絆が深まり、こころ豊かな時間を過ごせるのではないのでしょうか。それが茶の湯のもつ文化としての魅力でもあると思います。